

## 「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：寒河江小学校 体育館

日時：令和4年6月28日（火）19時30分から21時10分

参加人数：33名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（質問者）

素朴な質問ですが、この話は決定事項なのでしょうか。これからもんで二転三転するのでしょうか。はじめてのこういう場なので質問したいと思います。

（学校教育課長）

計画的には決定しております。

（質問者）

わかりました。すべての総予算はいくらくらいですか。

(学校教育課長)

予算については、中学校の候補地も決定していない状況で。

(質問者)

わかる範囲で結構です。

(質問者)

決定事項なのに、金額がわからないというのは不思議です。普通の会社だと事業をするときは、だいたい予算はこれくらいというのがあるのではないのでしょうか。

(学校教育課長)

計画的には決定ですが、詳細な設計、土地の金額がわからない状況です。想定している金額はありますが、今、ここではお答えできません。

(質問者)

わかりました。事前のアンケートで、メールで反対をしたのですが、反対の割合はどうだったのでしょうか。市のホームページに載っていると思うのですが。さくらメールにきたので返信したのですが。私の手に入れた情報では、8割くらい反対があったと思うのですが。

(学校教育課長)

パブリックコメントの話でしょうか。

(質問者)

たぶんそうなんですかね。パブリックコメントなのか、さくら連絡網なのか、文言がわからないのですが。

(学校教育課長)

さくらメールではアンケートをしたと思いますので、反対の意見はパブリックコメントだったと思います。

(質問者)

私が聞いているところだと8割くらい反対ということだったようです。なぜ、反対が多かったのに強引にこの計画を進めようとするのか、今の説明では、わかりませんでした。決定事項なのに、予算もはっきりせず、6年後に統合したときに市長や教育長は現職を退いているのではないのかなと。その責任はとれるのか。この金額や決定事項になったときに、いい悪いではなくて、私はここの年代に関係ないのですが、孫の代で関係してくるのですが、寒河江市民に、2年5か月間も話し合いをしていたにも関わらず、寒河江市民にこれだけ規模が

大きい事業を、なぜもっと親密に寒河江市は発表しないのか。もっとふみこんで考えて、反対してるのに、強引にいっちゃいますぜみたいな。反対している市民がたくさんいるのに強引に行くのは、なんでなのか。という説明がないですし、そこが非常に1つも感じられないところが大きいと思います。なんでこんなに反対しているのに、強引に進めるのか明確にでていないところが、例えば千円くらいならいいですよ。何十億という予算が動く中で、税金とか寒河江市民にすべて関わってくる話だと思うのを、なぜこれだけ強引に進めていく寒河江市なのか、寒河江市民として不思議ではないです。もう2、3点。適切な教育、きめこまやかな教育とありますが、中学校のマンモスでできるんでしょうか。特別支援学級の話が出てなかったのですが、マンモスになったとき、今の割合で8から9から10クラス作らなければならないと思います。あとは、子どもたちが減っていくので、マンモス作っても使い方とか、これだけの規模を計画するわけですから、そこらへんの発表もないですし、つくっちゃうという計画しかないと思います。最後の資料にあった他の小中学校の資料は、今回の話と別物なので統合する我々と例えば福井県はただ新しくつくったというだけかもしれませんが、そういうところでは話がまったく別物ですよ。寒河江小学校を新しくつくります、こうなりましたPDFできたのかもしれませんが、それと今回の統合では、目的と問題がかわってくるので、イメージ戦略かなと思います。あの資料はいかがな

ものかと思います。いっぱいあるのでここで終わります。

(教育長)

ありがとうございます。何点かご質問ありましたが、その中で何点か私から答えさせていただきます。最後のお話の写真、新しい学校の写真はイメージ戦略でないかとありましたが、最初に挨拶で申し上げたとおり、いろいろな学び方にあった学校のつくりを考えていきたいということがあり、こんな事例もありますということで、写真等で説明させていただいたところです。あと強引に進めるということに関して、いままでの周知についても不十分であったのではないかと、他の説明会会場でもいろいろご意見いただきました。そういう風にな言われてもしかたない部分があったのかなと思います。今回の学校を統合していくというのは、1つは、学校が建ってから40年、50年経ってきている。このままでは、学校も古くなってきている、そこで新しい学校も建てなくてはならない。そうしたときに子どもの数が減っていくなかで、今までと同じように小学校9校、中学校3校は合理的ではないということもあります。そこで、令和元年度にあり方検討委員会を設置しまして、いろいろと検討してもらったところです。パブリックコメントで反対意見が多かったのは、先ほどご指摘いただいたとおり中学校1校は大きすぎるのではないかとということでした。あり方検討委員会でも、中学校を1校にするか、または、学区

を分断するのはいろいろ過去にも問題があったので学区を分断しないでとなると、陵南と、陵東・陵西を統合した2校体制という2つの案がありました。どちらがいいのかをいろいろ議論してもらったのですが、議論すればするほど1校案、2校案ともいい点もあるけれども、課題となる点もある。検討委員会では、1校案、または2校案ということで答申をいただいて、教育委員会で決定をしてくださいということになったのです。そのときに、先ほど財政のこともお話いただきましたけれども、今くらいの子ども数が続いていくのであれば、2校案もありなんだろうなと思うのですが、先ほどの説明にもあったように、陵南学区はそんなに急激に減っていくわけではないですが、陵東、陵西学区の方は、これから生徒数が減っていくわけです。今いる子どもたちの数から推計すると、令和13年度には陵東、陵西学区あわせて、今の陵東中の生徒よりも少なくなってしまうという現状です。中学校を2つ作ったとして、10年後20年後に再び統合ということを考えなければならないというようなことは合理的ではないということから、中学校は最初は900何十人という大規模校になりますが、そこから生徒数は減っていく見込みですので、1校ということになりました。先ほどマンモス校になるとどうなのかということがありました。当然、ご心配があると思います。しかし、学級数が多くなればそれだけ職員の数も多くなります。また、1クラスの人気にすれば、大きい学校でも、極小規模校は別ですが、小規模校で

も人数はそんなに変わるものではありません。職員数の多さというメリットを活かして、いろいろな面から生徒たちを見て評価していける。授業の中でも、例えば、1つの教室に2人の先生が入ってチームティーチングもやりやすくなりますし、そうしたことでメリットもあると考えまして、1校案として計画は策定しました。先ほどありましたようにパブリックコメントでは、中学校1校では生徒数が多いのではないか、計画の周知の仕方が足りなかったのではないかという、反対、ご批判の意見はたくさんあったのということをご指摘の通りです。

(質問者)

なぜ周知が少なかったのでしょうか。大規模な話のなかで。今まで2年5か月あって。市報とかいろいろな面でつかえるものはあると思うのですが。確実に決定になってから、説明会を受けても、各説明会場で同じようなこと言われていると思うのですが。なにも覆らない、我々は聞いていて、そこが一番、反対されていて、出てましたよね、後だしじゃんけんみたいで、我々が反論できない状態で説明聞いても、これはどうなのかな。なぜそうなったのか細かく、こういうことで、周知できませんでしたと説明していかない限り、これから説明会しても市民からは納得の声がいただけないと思うので、後ろめたいことがあったのかと思ってしまう。隠していたのか、決定しましたと

言ってからではないと言えない何かがあったのかなと。反対できないようにしてからでないと言えない何か。こうこうこういう経緯で説明できなくて、決定しちゃいましたよ、というぐらいまで親切、ていねいに言わない限り、説明会というのはそういうもんだと思います。こういうのは資料見ればわかるので、そういうところの方が、聞きたいですね。対面向かって質疑応答できるので。予算がわからないのはおかしくないですか。金額動くんですよ。土地を買収しなかったらこれくらいかかるとか、結構おかしいと思いますよ。大体わかんなかったら、きなくさいと思います。すみません、厳しい意見で。以上です。

（教育長）

ありがとうございます。あり方検討委員会については、非公開でやっていたわけではないですし、マスコミも入って何度か報道もされたわけですが、ただ、市報にのせることがなかったので、ご指摘のとおり周知が足りなかったと思います。なお、後ろめたいということがあり、隠そうと思って行ってきたわけではないことは申し添えさせていただきます。また、予算についても校舎の建築費用、グラウンド等の整備費用等、そうしたことの計算はした上で計画は立てておりますが、今ここで何十億という数字は申し上げられませんが、参考資料として申し上げますと、高畠町の高畠中学校が6年くらい前に町で1つ



の中学校としてできました。生徒数は700人くらいだったと思いますけれども、校舎、グラウンドの整備、土地取得等で50億円以上かかっております。それよりも統合中学校となれば大きな面積等が必要ですので、それ以上はかかる。陵南、陵東、陵西も建ってから、50年くらいになっていますので、建て替えが必要な時期になっています。2校作っていくと1校統合の単純に倍とはなりません、かなりの金額になると思います。

（質問者）

最後の質問です。現市長、現教育長は最後責任をとれるのでしょうか。何があっても退いても責任がとれるということよろしいでしょうか。

（教育長）

責任のとり方、どういうとり方ということがあると思うのですが、今の立場で最善のこと、将来のことを考えてやっていく。4月から引き継いだわけですが、これまでの状況については、資料を見て、前任者にも経緯を聞いて、よりよい学校をつくっていかうと、それは責任持ってやっていくということです。

（質問者）

ありがとうございました。

(質問者)

寒河江小の保護者の者です。人数も減ってくるし、設備も古くなるし建物を新しくしましょう、数も減らしましょうという話は、他でいくつもありまして、寒河江市もようやくかたとらえております。今、寒河江市の計画を聞かせていただきましたが、行政の方の話ですので設備の話が多いのかなと感じております。設備を新しくするだけなのかな。そこで実際行っていく教育の具体的な内容はどうなっていくのかなということに関心をよせております。寒河江小はすごく宿題が多いということがありまして、19時30分までかかってようやく終わる日もありました。宿題はだれのためにあるのかなとある日ふと思ったのですが、22、23、24人くらいが適正クラスとありましたが、うちの子どもも適正クラスの人数なのですが、こんなにたくさん宿題あったら勉強できない子も大変だよねと思いますし、勉強ができる子にとっても、自分がやりたい課題は宿題をやっている間は、取り組めないわけです。上の子にも合っていない、下の子にも合っていない、では、真ん中の集団に合わせてるのかと思うのですが、その真ん中集団にしたって、その中の一部にしかアジャストしていないわけです。誰のための教育なのか、常に感じておりまして、行政の方に伺う話ではないかもしれませんが、判で押したような人間

をつくりだしたいのかなと。もっといろいろなことに取り組みたい子には、そういう道があって、できない子にはできない子なりの道があって、多様性だと思うのですが、広いホールがあるとか、1クラスに2人の教員がいるとか、いろんな話がありましたが、どういう教育を実現したいのかということを感じるのです。他の市町村でも新しい校舎をつくりましたということで、先行しているいい事例がたくさんあるので、どんなところを目指していきたいのかを伺いたいと思います。

（教育長）

ありがとうございます。教育の中で、これからの教育を考えたときにとっても大事なことだと思います。私も中学校の教員をしておりました。去年の3月までは陵南中学校の校長をしており、指導主事として多くの授業もみて、助言を行ってきました。今おっしゃられたことは、すごく大事なことだと思います。計算ができる、漢字がたくさん書けるとか、判で押したような人間を作ることが今求められているわけではないです。かつては、どれだけ知識、技能がすぐれているかということが、評価の中心になっていたような時期もありました。今知識の面で言えば、スマホとかあれば何でも調べられる。これから求められるのは、そうした調べればすぐわかることをどれだけ覚えているかではなく、先ほど申し上げた変化の激しい時代、先行

きが見えない時代、答えがない時代に、どうしていけばいいかを積極的に考えられる子ども、大人であって、我々の社会をより良くしていくためには、こうすればいいんじゃないかということを提案し、行動できる子どもたちを育てていきたいと思っています。そのために、今の寒河江市では、他の市町よりもいち早くタブレット型のパソコンとかも準備しまして、それをうまく活用しております。パソコン使えばなんでもいいというわけではありませんが、いいところを取り入れながらですが、授業を変えようと努力をしているところであります。

(質問者)

質問失礼します。10人のクラスであっても30人のクラスでも、1人1人にばらつきがあるので、上の子、下の子、それぞれにアジャストできる、それぞれのやりたいことに合わせていける、それぞれ1人1人の課題を解決して、伸ばしていける学校が求められています。校舎を新しくするのであれば、そこで実現していく内容が一番大事だと思います。新しくなるんだということにあたって、例えば2つある3つあるものが、1つに減ってしまう、その1つはうちの地域に作ってくればいいのかと減らされる地域の人にはみなそう思うと思うんです。うちの所から小学校がなくなるのはさみしいな。地域がさびれてしまうなど。そういうことで反対の方もおられると思うのですが、デメ

リットについてはこういう風によくなりますよということを具体的にを見せていただければ、それぞれの納得されない方も納得する面もでてくるのではないかなと思います。以上です。

（教育長）

ありがとうございます。今の授業が目指すキーワードの1つは、個別最適化です。個々に応じた課題になるようにやっていながら、その子にあった将来性を伸ばしていこうということを目指していこうというのが1つの大きなねらいとなっております。難しいことではありますが、そうしたことを実現していくためには、ある程度の人数の中で意見を言いあって、刺激を受けたりして、自分の学びを深めたり広げたり、そういう機会を多くすることが大事だと思います。ご意見いただきましてありがとうございます。

（質問者）

ありがとうございました。

（質問者）

子どもの数が減ってしまうので、最終的な統合とかはしかたないと思っている人間ですが、統合したときに要望というか、お願いですが、質問もあがっているとおり、人数的に大きな学校ができるというこ

と、学区もすごく広くなってくると思います。中学校を統合すると学区が寒河江市全部になりまして、ものすごい範囲になります。1,000人近い人数が集まるということは、統合後の中学校は高校みたいになると思います。そうしたときに、生徒の中でもいろんな能力の差がある子が入ってくると思う。高校だと受験とか専門的なところで選んできていると思いますが、選んできていない中で1,000人という人数を1つの学校でかかえるわけですので、先生方の負担がものすごいと思います。統合すれば先生方を確保できるとおっしゃっていただいたのですが、正直、今の計算では足りないと思います。どれくらいの人数かわからないのですが、義務教育関係だと家庭との連携も必要だと思いますので、ものすごい学区の広さになって、家庭訪問を考えると担任の先生のものすごい負担になると思います。児童数が減ったといっても、大人数の生徒とすごい学区の広さをその人数の先生だけで把握していかなければならないと、ただ人数を増やしただけでは非常に苦しいと思います。そうした中で、要望としては、行政側の予想の2倍くらいは教員を確保しないと。特に開始3年くらいはいろんなトラブルが起きた時に、先生方が疲れ切ってしまうんじゃないかと心配しています。今も寒河江小の職員室は明かりついていますが、統合によって大変になることが見えているので、足りるとおっしゃいましたが、そこに過信があるかなと思っております。統合した時の地域性からくるトラブルとか小学校から一緒に

あがってくる問題点とか、そういうのが少なくとも統合の3年間はいろいろな問題が起きると思いますので、先生方の確保だけでなく、先生方の負担の少ない形での配置を併せて検討いただきたいというのが本音です。よろしくお願いします。

（教育長）

おっしゃるとおりだと思います。教職員の数は、クラス数によって何人と決まってくるので、その数に対して、国と県から給与が支払われるということになります。それにプラスして、市の教育委員会では、学習支援員、特別支援学級の補助員を市でお願いして学校で対応させていただく状況となっております。今、おっしゃられたような心配もありますので、市でお願いする人数については、可能な限り確保しながら対応していきたいと思います。ありがとうございます。

（質問者）

寒河江小学校の保護者です。統合した学校ができたときの通学時間について教えてください。スクールバスとかあった場合、徒歩の場合とあわせて長くかかるとどれくらいかなとお伺いしたいです。

（教育長）

中学校ですか。

(質問者)

全部の統合した小学校、中学校です。

(教育長)

中学校はどこに学校を作るかということを検討しておりますので、どこにつくるかで、どれだけの子どもたちがスクールバスを利用するかとなると思います。スクールバスも長い時間乗っていると子どもたちも疲れてしまうと思うので、本数なども考えながら、子どもたちのなるべく負担にならないように検討していきたいと思います。小学校の方は、例えば、今、柴橋小ですと遠い子だと2.5kmちょっと歩いて通っているという状況であります。歩いて通うとするとぎりぎりなのかなと思います。文部科学省の設定はもっと広い範囲になっておりますが、現実的に重いカバンを背負って、教科書も大判になって重くなっていますので、歩いて通うのはきびしいかなと思いますので、そうしたところは、スクールバスを活用しながらと考えております。個別にここの学校は何分とは申し上げられませんが、例えば、2.5km通っている子どもたちは、小学生とかだと30分ちょっとはかかっている状況かなと思います。

(質問者)



もう1つお願いします。小学生で学童にお願いしているのですが、小学校を統合したときは学童施設も新しく増やすというか建てるというか、小学校を統合したときには新しく建てるのでしょうか。

（学校教育課長）

学童については、子育て推進課と今から検討させていただいて決めていきたいと思います。

（質問者）

市内に祖父がいて、夫婦で働いて預けたいとなったときに、おじいちゃんがいるならそちらに預けてもらえませんかといわれまして、学童の施設もあわせて考えていただければと思います。

（質問者）

寒河江小出身で、この校舎の建て替えが始まったのが小学校6年生のときでした。そのときの記憶をさかのぼりながら聞いていたのでした。正直、教室から廊下にでると寒くて、今ならヒートショックをおこしそうな状況のもとで、子どもたちを学ばせるのはつらいかなと思ったりして、建て替えすることについては早く進めていただくのはありがたいと思う反面、どういう風に統合してくのかは難しいなと思いながら聞かせていただきました。建て替えにあたって、善意

で、または公式な立場できたのかはわかりませんが、PTA役員の方が来まして、学校建て替えの寄付をお願いしたいと、親と話をしておりました。そういうこともあてにして建て替え統合を進めていくのか。もう一つ、あてにして進めていく場合、いくらくらい、1口いくらくらい考えているのかをお聞きしたいです。なぜかと言いますと、その時は、父から聞いたら3万と言われた。この近くに住んでいる方と話しているときにうちは1万だったよなど、同じ学校に通うのに差がでていいものなのかと子どもながらに感じたことがあったのでお聞きしたいと思います。

（教育長）

今ありましたように、以前は学校を新しくするときにはPTAの方を中心に寄付を集めて、例えば、イス、机を購入したりとかあったと思いますが、これからはそういったことではなくて、備品については、市で準備するということです。

（質問者）

三泉の説明会にも出まして、今日も参加させていただいております。中学校の1校案、2校案は答申では決められなくて、教育委員会で決まったとおっしゃっていましたが、そのときにメリット、デメリットを検討されたと思うのですが、その内容を具体的に教えていただく

ことが私たちに理解を求めらるうえで不可欠だと思います。こう決まりましたということだけでなく、どういう理由で決まったのかを聞くことで理解が深まることもあるでしょうし、もっとこうした方がいいのではないか、そこを伺いたいのと、教育委員会は何名いらっしゃって、どのような話し合いを進められた上で決定をされたのか、どのような方が参加して、決められたのかを伺いたいと思います。

（学校教育課長）

ありがとうございます。メリット、デメリットに関してですが、デメリットですが、学校が大きくなり過ぎて同級生の顔がわからない、学校行事とかで個人に役割があたってこないとかがあったと思います。メリットにつきましては、授業や教育活動において切磋琢磨できるとか、多様な考えをもった子どもたちと交流できるので、能動的で、多面的な考えをもつ子どもたちと交流できるので能動的な探究的な学習ができるとか、クラスも増えますので、教員数も増えるので教員同士の研修が進み、授業でも子どもたちの多面的な思考を促すことができるなどメリットがあげられると思います。

（教育長）

教育委員会については、教育長と教育委員が4名おります。その4名の方は、市民の中から任命されて教育委員を務めていただいております。

ます。その委員の方々の意見等については、寒河江市教育委員会の記録ということでホームページにも載っておりますので、教育委員会として議決するときの意見等については3月の記録を見ていただければ、どういう方がどんな意見でということはおわかりいただけるかなと思います。また、これを決定するときには教育委員会だけでなく市役所内の関係各課とも、予算、財政面などいろんなことを考慮しながら検討していき、最終的には教育委員会で3月に計画を議決したということになります。

（質問者）

それに関して、大きくなりすぎてわからない、切磋琢磨できるなど、子どもたちに関すること大きい、子どもたちの学校であって、それが一番大事だと思うのですが、大きくて遠いことで通学に時間がかかるとか、もしくはそれに対するコストとかは、具体的な数字をもって検討されたのでしょうか。例えば、私は個人事業をしておりますが、小規模なことであっても考えますよね。いくらくらいかかって、A案ならこれくらい、B案ならこれくらい、それならこっちをとるか。スクールバスは決まっていないで、はたして本当に比較できたのか。疑問があるのですが。そこらへんはどうなのでしょう。公表できないだけで案はあったのでしょうか。

(教育長)

1校案にしたときに大きい課題として通学の問題があると思います。スクールバスを使わざるを得ないと思うのですが、とくに冬、道路が渋滞しがちですので、どれくらい時間がかかるかということは考えなくてはならないことだと思います。あまり広い範囲を1台で回って、時間がかかれば負担にもなると思います。それなりの本数を準備しなければならないと考えています。それはどこに学校をつくるかとも絡んでくると思います。また、建設費について何億円という数字は申し上げられませんが、例えば、中学校2校を作った場合にはこれくらいの費用がかかる。校舎、グラウンド整備など、1校にした場合はこれくらいかかる。また、作って終わりではないので、1校を運営してくのと2校を運営していくのでは必要経費といえますか、運営経費が違ってくるわけです。そうしたことを総合的に考えて、さきほどの繰り返しになりますが、2校で、両方とも、子どもの数が減っていくというのはこれからの世の中ですので、ある程度はしかたないと思うのですが、寒河江市の場合、これまでの経過を見てみると陵東、陵西学区の減っていきかたが大きい。そうすると、10年先20年先といったことを考えたときに、陵東、陵西学区の生徒数が200人ちょっととかになってくると小規模となり、それはそれで問題がでてくる。そういったときに再び統合ということを考えなくてはならないのは、合理的でないし、経済的にも問題である。学校を作る

費用は、国からの補助金がでますが、市が出すお金は市民の方からのお金となります。一気にには出せないで、市民の方が、将来にわたって払っていく部分になります。そうしたことも総合的に考えて1校に決定したということです。

(質問者)

そこに決定するまでにみなさんが検討されたデータについて私たちに開示していただくことはできますか。案なのでどれほど正確性を求めるかももちろん考えてみますが、そこらへんを考えていただきたいのですが。

(教育長)

データといいますと例えばどういった。

(質問者)

基本的には今の状況であれば、中学校であればスクールバスはいらぬ状況ですけれども、幸生小、田代小学校が統合しているわけですので、そちらはわかりませんが。ほとんどの子が歩いて通っているわけですけど、どこにできるかによるとはいつても、大きな市から一カ所に通うわけなので、相当な数がでないと、朝は1回かもしれません、帰りの時間は1回で済むのか、部活がおわってから乗せてもら

えないとかあると思うのですが、何便だすとすればいくらかかるのか。公共交通機関をどの程度使うのか、市がだすのか。それによってもかかってくる金額が変わるわけですよ。建てることはおおよそ建てる時に決まるかもしれませんが、ランニングコストはずっとかかりつづけるわけですよ。それを天秤にかけて何年先まで考えたのか、そのようなデータがないと比べられないと思うのですが、いかがでしょうか。

（学校教育課長）

スクールバスについてはこれから候補地を検討するわけで、ランニングコストも場所によって違って来るわけで、細かいところまで設計したわけではありません。

（質問者）

2校建てたときの建物の金額、人件費、そのへんのデータを開示してもらうことは可能ですか。

（教育長）

さっき言いましたようにグラウンドの整備費用、土地の取得費用、建物の建築予定費用は計算してやっているわけです。ただ、それをそのまま公表すべきかどうかは検討させていただきたいと思います。

(質問者)

わかりました。1校にすると必ず用地取得が必要かと思いますが、2校にすれば必ずしもその面積を買わなければならないわけではないですよね。そのへんについても検討されたのかを伺いたいのと、これは質問ではなくて意見ですが、どのようにして決まったのかということが、説明会でみなさんから疑問があがったことだと思う。どのような子どもたちを育てたいかということで、答えがない問題を考えられる大人、子どもを育てたいとおっしゃっていましたが、今までの、決めてから報告しますのやり方に対して市民からおかしいのではないかという声が出ているのだと思います。今、検討されているみなさんが変えていく可能性とかそのような考えはありますか。

(教育長)

今、説明会をして、明日も明後日もあります。三泉の方で、保護者向けの説明会を7月にする予定です。同じように西部地区も統合が関わってきますので、保護者への説明会を1学期の通知票配付、水泳大会など、保護者の方が学校にいらっしゃるときの時間に説明させていただいて、質問やご意見はネットで寄せていただいたり、書いていただいたりして集めて、そうしたご意見を十分検討して考えていきたい。私の一存で、意見をいただいたので変えますとか変えませんと



か申し上げられないわけですが、いろんな意見、通学の問題、三泉では小学校で1回統合して中学校でまた統合するというのはどうか、2段階ではなくて、学校も古くなってるし、複式解消もしなければならぬならば、一気に5校を統合すべきではないかというご意見もありました。そうしたことも含めて検討したいと思います。この案を白紙に戻してということではないですが、一部修正していくことは可能性としてはなくはないと思います。決まったから絶対このまま全部いきますではなくて、検討します。ただ、検討した結果、今のこの案でいくべきだとなるかもしれませんし、一部こうした方がいいとなるかもしれませんし、そこはしっかりとご意見をうかがって検討していきたいと思います。説明会の方も、これまで6校でやったうち、4校分はかなり詳しくホームページにもアップしていますし、残り2校分についても近日中にアップして、今日の方もアップしていきたいと思います。地域の方、保護者の方にもいろんな意見を聞いてもらいながら、説明会等もしていきたいと考えていますので、ここでご意見いただきたいと思います。

(質問者)

よろしくお願いします。三泉ではPTAみんなで学校の統合について考えようと、勉強会したりとか、みんなで意見をだしていこうとなっておりますので、市民みんなが見ておりますので、よろしくお願いいたします。

します

(質問者)

本日の説明会なのですが非常に暑いですよ。なぜ扇風機をおかないのか非常に不満です。夕方に集まって、くたびれて、私も来ているのですが、学校も心配なので来ているのですが、なぜそういう準備もできないのかなと思います。ここまで6人、市民の方が質問されていますが、その方への答えの準備が非常に不十分だと思います。そんなこと聞かれるまでもなく、説明できるように準備すべきだと思いますし、なぜそういう準備ができないのかなと思います。先ほどの質問に対して、質問されたことに対して、それにお答えできる立場ではないと教育長さんがおっしゃいました。教育長さんって教育委員会のなかでも最も責任のある方なのではないでしょうか。その方が判断できないといわれてしまうと何のために説明会にきてるんだと思います。きちんと私は私で判断していく、そういう答え、教育長さんの姿勢が誠意がないと思います。ここまでは意見です。質問です。大規模校、ある程度の規模をもった学校がふさわしいんだという話を中心にありますが、小規模校でも複式学級でも悪くはないと思います。それは、私の経験からです。私は寒河江市外で育ちましたけれども、そこは冬季分校もあって、複式学級のある、学校規模のところですけども、中学校、高校と勉強して社会人になって今こうやって

仕事をしています。小規模の学校で教育を受けたから不十分な教育を受けたとは決して思っていません。そういうことをなぜ認めないで、大きくすることだけに目を向けていくのか疑問です。そもそもの計画づくりについてです。計画づくりを各会の代表の方に入ってもらって検討してきたという説明でした。ですけれども、学校1つ作れば50年、100年続くんじゃないですか。寒河江小学校も何年になるんですか。この検討委員会を2年5か月やってきて計画を作ってもらいました。将来にわたって、それを計画を進めたいんだっていわれても、2年5か月ばかり、少人数で検討した中身をみんなに理解してもらえるのか。それは到底理解できないと考えるのが普通なのではないか。計画の最初の段階でもっと地域の方の声を聞いて、それぞれの地域の中で、こういう学校がいいよね、子どもたちを育てていたいよねということを、教育委員会が地域にでて積極的にひろって、それからそれをベースにして、時間をかけて検討してくる必要があったのではないかと考えています。そこからすると今回、計画としてまとめられていますが、これに納得しない市民が大勢いるのは当然のことであって、そのことを教育長には持ち帰っていただいて、計画のどこに不十分さがあるのか再検証していただいて、新たな検討委員会を作るなり、計画の見直しを考えていただきたいと思います。以上です。

(教育長)

ご意見ありがとうございます。今日は、大変暑い中でということで設定が不十分であり申し訳ありません。先ほどの発言は、私が判断できないということではなくて、私がここで一存で決めることではないということです。先ほど申し上げましたように、こういう説明会をしてご意見をお聞きしておりますので、十分吟味していくということです。また、複式学級、少人数学級がダメだとか悪いといっているわけではありません。とくに西村山地方においては、複式学級が多くありました。そうしたなかで研究も進んで、複式学級でどうすれば子どもたちに力をつけられるか研修し授業がレベルアップしていったということもあります。ただ、今後のことを考えますと、たとえば、小学校の小規模校の中でずっとクラス替えのない中でやっていくのと、クラス替えがある程度できるような人数の中で、周りから刺激を受けて、いろんな考えに触れて、切磋琢磨しながら力をつけていくのが、どちらがよりよいかと考えたときに、小学校の統合であったり、中学校の統合を計画したということです。なお、先ほどありましたようにいろいろなご意見についてはしっかり持ち帰って検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

(質問者)

寒河江市外で育ちまして寒河江にきて、結婚して寒河江に家を建て

まして、子どもも3才と1才で、統合の年代というか、中学校と小学校に重なる年代なので今日参加させてもらったのですが、学区的には、寒河江小学校、陵東中ということで今のままだと、寒河江小学校に通って陵東中になると思っていたのですが、統合の機会で、賛成も反対もなく話を聞いてみようかなと思ってきたのですが、何点か疑問に思ったので、質問させていただきたいと思います。中学校1校は無理があるのではないかと思いました。土地ですね。1,000人規模となっていました。それだけの校舎、グラウンド、部活も増えると思うので、野球場、ソフトボール、サッカーなど相当な面積を必要とするのではないかと、頭の中で寒河江市を考えてみたのですが、そんな土地あるのかなと。用地選定の時期にあると思いますが、用地をきめたとして、その土地から買収の時に、反対運動があった場合、計画をどうするのか。買収が遅れれば統合も遅れることもあると思うのですが、土地の確保、新校舎をどこにするのか、本当にできるのか疑問です。土地の候補とか何カ所かしぼってあるとか、どれくらいの広さが必要なのか決まっているのでしょうか。

(学校教育課長)

今年度、用地選定の計画になっておりますので、市役所で検討委員会を立ち上げまして検討しているところでございます。具体的な場所とかまでは決まっておりません。面積に関しては、今の陵南中学校よ

りも広い面積になると思っております。

（質問者）

もう1つですが、部活のことについて別のところで検討しているのですか。部活は部活で、先ほど聞き逃したのですが。

（教育長）

部活については、運動部の活動で休日については、地域で活動をということで全国的な動きがあります。寒河江市でもそれをどういうふう to 実現していくかの検討を始めようとしているとことです。寒河江市だけでなく、西村山の4つの町と一緒に考えていきながら、どういうやり方がいいかを検討していくという状況です。

（質問者）

いままで陵南中、陵東中、陵西中、私の経験ですが、中学校のときはテニス部で陵南、陵東はどちらも強くてライバル関係にあるのかなと思ったのですが。1校になったら競い合いができなくなるんじゃないかなと。いいライバル関係が消えるのではないかと思ったりすると、他の町、河北、西川、大江、朝日ありますけど、例えば、野球部ありますけど、寒河江市から1チームしか出られないのか、選手が限られてしまう、試合に出られない選手は、出られないまま終わっ

てしまうのか。1校であるがゆえに出られないというのもあると思います。そういうことは、考えてはいるのでしょうか。

（教育長）

当然そういったことも考えております。部活動も転換期になっておりまして、今までですと中学校単位でしか地区総体とか県総体には出られませんでした。いわゆるクラブチームとしても参加を認めるようになってきています。あと、陵南でも他の学校でも、チームとしてなかなか人数がそろわない状況となっています。これから部活が大きく変わっていきます。それが先ほどの休日の部活動の地域移行ということも関わって、こういった形の部活動が子どもたちにいいのかを検討していかなければならない時期だと思えます。

（質問者）

小学校の統合について、西根小と三泉小が新小学校①、高松、醍醐、白岩が新小学校②となっていますが、統合した場合、万が一ですけど川をわたるのではないかと。災害が起きるかわからないですけど、小学校に行くときに橋をわたる。西根に来ている三泉の子は家に帰れないとか。醍醐に来ている、白岩、高松の子は帰れない。そういうことも考えているのでしょうか。そういった場合の対応も考えてはいるのでしょうか。

(教育長)

予想外の天候不順が起きています。一昨年も夏に大雨が降って避難指示がでたこともありましたが、児童・生徒の安全確保については十分考えていかなければならないと思います。

(質問者)

先ほどの説明の中で、質問への答えの中で、高畠中を建てるときに50億という答えがありましたが、50億もかかるのであれば2校3校も無理だよねと思ったのですが、それは、用地取得費用も全部あわせて50億だと。新たに土地を求めなければならない場合、既存の用地を使えば学校建設費だけでもしかすると20億くらいでできるかもしれない。そうなれば2校作ったってできるんだという話にもなるんだと思います。今日の説明会の中で、2校は無理だよねと思った方もいるかもしれませんが、そういうところだけ具体的に説明をなさったのか疑問です。具体的なシミュレーションが少ない中で、無理だなと説明をされると結局、予算次第の計画だっとなってしまいうとまずいことだと思うので、正確な予算をだしていただいて冷静に考えられるようにしていただきたいと思います。

(教育長)

ご意見ありがとうございました。